

授業科目名	成人看護学概論		区分	専門分野Ⅱ
			単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	専任教員 (実務経験5年以上、かつ教員に必要な研修を受講した者)		時期	1年次 2学期
科目目標	1.成人看護学の概念を理解できる。 2.成人期にある人の健康を理解できる。 3.成人看護に有用な概念を理解できる。			
回数	授業内容		教育方法	
1	1. 成人看護学の概念と構成		講義	
2	2. 成人看護学の特性		講義	
3	1)成人保健の動向 2)ライフサイクルの中での成人の位置づけと意義 3)成人の発達段階 4)身体的、精神的、社会的、スピリチュアルに重要な時期		講義	
4	3. 保健・医療・福祉における動向と課題		講義	
5	4. 成人看護に使用される理論・モデル		講義・演習	
6	1)ニード論 2)ケアリング 3)ストレス理論・危機理論 4)生体侵襲理論 5)セルフケア論 6)自己効力感 7)適応理論 8)健康モデル 9)アンドラゴジー 10)不確かさ・病の軌跡 11)アドヒアランス		講義・演習	
7	5. 成人看護における倫理と看護者の役割		講義	
8	修了試験		筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて総合評価する。			
必須図書 参考図書等	【必】成人看護学 成人看護学概論 ヌーベルヒロカワ プチナース特別編集版 よくわかる看護者の倫理綱領 照林社 【参】国民衛生の動向 厚生労働統計協会			
履修上の 注意	・関連科目：看護学概論			
備考				

平成31年度 授業概要

授業科目名	成人健康増進論		区分	専門分野Ⅱ
			単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	専任教員 (実務経験5年以上、かつ教員に必要な研修を受講した者)		時期	2年次 2学期
科目目標	1. 成人期にみられる健康障害の知識をもとに健康教育・ヘルスプロモーションの考え方が理解できる。 2. 健康の保持・増進、疾病の予防に向けた看護が理解できる。 3. 成人に必要な健康教育の計画立案・実施・評価ができる。			
回数	授業内容		教育方法	
1	1. 一次、二次、三次予防の現状と対応 1)健康の定義 2)ヘルスプロモーション		講義	
2	2. ヘルスプロモーションを必要とする対象		講義	
3・4	3. 成人期の健康教育 1) 健康教育・患者教育とは 2) 健康教育に必要な理論：保健行動理論 保健信念モデル 自己効力感 行動変容ステージモデル		講義	
5	3) 健康教育の方法と媒体		講義	
6	4) 健康教育の計画立案と評価			
7～14	4. 成人におけるヘルスアセスメント・看護過程の展開・継続看護と健康教育 事例<高脂血症、メタボリックシンドロームのヘルスケア> 1) 成人期の特徴を捉えた看護過程 ・ヘルスアセスメント ・情報の整理・統合 ・看護計画立案 ・教育計画の検討(教育内容・教材・教具の作成と方法の検討) ・患者(家族)指導(ロールプレイング)		講義・演習	
15	修了試験		筆記試験	
評価方法	筆記試験と演習参加状況、課題の総合評価とする。			
必須図書 参考図書等	【必】成人看護学概論 ヌーベルヒロカワ 【必】国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新保健学講座 健康教育論 メヂカルフレンド社 松本 千明著 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 生活習慣病を中心に 医歯薬出版株式会社			
履修上の 注意	・関連科目：成人看護学概論、看護過程の展開、健康段階の看護Ⅰ、健康段階の看護Ⅱ、成人循環障害時の看護、成人消化障害時の看護、成人運動障害時の看護、成人看護免疫代謝障害時の看護			
備考				

授業科目名	成人循環障害時の看護	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(看護師)・専任教員	時期	2年次 1学期
科目目標	1. 循環器、呼吸器、腎・泌尿器に障害のある人の身体的・精神的・社会的特徴が理解できる。 2. 循環器、呼吸器、腎・泌尿器に障害のある人の看護が理解できる。 3. 女性生殖器に障害のある人の身体的・精神的・社会的特徴が理解できる。 4. 女性生殖器に障害のある人の看護が理解できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. 循環器に障害のある人の看護 1) 循環器に障害のある人の特徴	講義	
2.3	2) 循環器の障害の種類(冠動脈の障害、刺激伝導系の障害、ポンプ機能の障害) 3) 虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症)を持つ人の看護 事例<心筋梗塞:急性期看護>	講義	
4	4) 刺激伝導系に障害(除細動を必要とする不整脈、ペースメーカー植え込み術を必要とする不整脈)のある人の看護	講義	
5	5) 心機能に障害(右心不全、左心不全)のある人の看護	講義	
6	2. 呼吸器に障害のある人の看護 1) 呼吸器に障害のある人の特徴	講義	
7	2) 呼吸器の障害の種類(呼吸器の感染症、気道疾患、腫瘍)	講義	
8	3) 呼吸器感染症(肺炎、結核)の人の看護	講義	
9	4) 気道疾患(気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患)の人の看護	講義	
10	5) 肺腫瘍(肺がん)のある人の看護	講義	
11	6) 酸素療法・人工呼吸器・低圧胸腔内持続吸引をしている人への看護	講義	
12	3. 腎・泌尿器に障害のある人の看護 1) 腎・泌尿器に障害のある人の特徴	講義	
13	2) 腎・泌尿器の障害の種類(腎臓の機能障害、尿路・性器の障害)	講義	
14	3) 腎機能が障害された人(腎不全・透析)の看護	講義	
15	4) 尿路・性器に障害のある人(前立腺がん)の看護	講義	
	4. 女性生殖器に障害のある人の看護 1) 女性生殖器に障害のある人の特徴	講義	
	2) 女性生殖器に障害(子宮筋腫、子宮がん、乳がん)のある人の看護 事例<乳がん:慢性期看護 乳房、腋窩のアセスメント>	講義	
	15 修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 成人看護学〔3〕 循環器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔2〕 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔8〕 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔9〕 女性生殖器 医学書院		
履修上の注意	・関連科目:循環形態機能学、循環病態学Ⅰ、循環病態学Ⅱ		
備考			

平成31年度 授業概要

授業科目名	成人運動障害時の看護	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(看護師)	時期	2年次 1学期
科目目標	1.骨・筋肉および脳・神経に障害のある人の身体的・精神的・社会的特徴が理解できる。 2.骨・筋肉および脳・神経に障害のある人の看護が理解できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	1.運動器に障害のある人の看護 1)運動器に障害のある人の特徴 2)運動器の障害の種類(外因性の運動疾患、内因性の運動疾患、脊椎の疾患) 骨折(開放骨折、複雑骨折)、変形性膝関節症、	講義	
2	3)脊髄損傷患者の看護	講義	
3	4)検査を受ける人の看護、保存療法(ギプス固定、牽引療法)を受ける人の看護)	講義	
4・5・6	6)手術療法を受ける人の看護 事例<大腿骨頭部骨折手術療法(人工骨頭置換術):周術期看護>	講義・演習	
7	7)理学療法・作業療法を受ける人の看護 MMT、関節可動域訓練、筋力増強訓練	講義	
8・9	2.脳・神経に障害のある人の看護 1)脳・神経に障害のある人の特徴的な症状	講義	
10~13	2)脳・神経に疾患をもつ患者の看護 脳血管疾患(脳出血、脳梗塞)、神経疾患、脊髄疾患 事例<パーキンソン病:慢性期看護>	講義	
14	3. 感覚器に障害のある人の看護 1)耳鼻咽喉に障害のある人の看護 2)咽頭がん、喉頭がん	講義	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】系統看護学講座 成人看護学〔10〕 運動器疾患 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔7〕 脳・神経疾患 医学書院 系統看護学講座 成人看護学〔14〕 耳鼻咽喉 医学書院 周手術期看護論 ヌーベルヒロカワ 【参】リンダ・J. カルペニート=モイエ 看護診断ハンドブック 医学書院		
履修上の 注意	・関連科目:運動形態機能学、運動病態学、病態学総論、医療概論Ⅱ、健康段階の看護Ⅰ、健康段階の看護Ⅱ		
備考			

平成31年度 授業概要

授業科目名	成人消化障害時の看護	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(看護師)・専任教員	時期	2年次 1学期
科目目標	1.消化器に障害のある人の身体的・心理的・社会的特徴が理解できる。 2.消化器に障害のある人の看護が理解できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1～3	1.消化器に障害のある人の特徴 2.症状に対する看護 (嘔吐、腹痛、吐血・下血、下痢、腹水による腹部膨満、黄疸、肝性脳症)	講義 講義	
4～7	3.内科的治療法(食事療法、薬物療法)を受ける人の看護 1)胃・十二指腸潰瘍 2)イレウス 3)急性肝炎・慢性肝炎・食道静脈瘤破裂 事例<肝硬変・肝がん:終末期看護>	講義	
8	4.検査時の看護(内視鏡検査、放射線検査、直腸指診、肝生検)	講義	
9・10	5.手術療法を受ける人の看護 1)食道がん 2)胃がん 3)大腸がん(ストーマ造設患者の看護) 4)胆石・胆嚢がん、膵臓がん	講義 講義	
11～14	6)開腹術を受ける患者の看護(術前、術中、術後の看護) 生体侵襲理論 事例<胃がん手術療法:周術期看護>	演習	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】系統看護学講座 消化器 医学書院 周手術期看護論 ヌーベルヒロカワ 【参】リンダ・J. カルペニート＝モイエ 看護診断ハンドブック 医学書院 看護診断ハンドブック 医学書院または電子辞書(看護診断が入っているもの)		
履修上の 注意	・関連科目:消化形態機能学、消化病態学、病態学総論、医療概論Ⅱ、健康段階の看護Ⅰ、健康段階の看護Ⅱ		
備考			

平成31年度 授業概要

授業科目名	成人免疫代謝障害時の看護	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(看護師)・専任教員	時期	2年次 1学期
科目目標	1.血液・造血器疾患、膠原病、感染症、内分泌代謝疾患に罹患している患者の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。 2.血液・造血器疾患、膠原病、感染症、内分泌代謝疾患に罹患している患者の看護が理解できる。 3.感染の拡大を防止する重要性を理解し、感染管理の側面から看護業務を考えることができる。		
回数	授業内容	教育方法	
1～3	1.血液・造血器に障害のある人の看護 1)血液・造血器に障害のある人の特徴 2)貧血のある人の看護 3)出血傾向のある人の看護 4)造血器に障害のある人の看護 事例<悪性リンパ腫化学療法:終末期看護>	講義	
4・5	2.膠原病の人の看護 1)膠原病の人の特徴 2)膠原病(全身性エリテマトーデス)の人の看護	講義	
6・7	3.感染症の人の看護 1)感染症の人の特徴 2)感染症の種類 (中枢神経系、呼吸器系、消化器系、皮膚・皮下組織、性感染症)	講義	
8・9	4.内分泌に障害のある人の看護 1)内分泌・代謝機能に障害のある人の特徴 2)内分泌疾患の種類 視床下部-下垂体前葉系疾患、視床下部-下垂体後葉系疾患 甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、性腺疾患	講義	
10～14	5.代謝機能に障害のある人の看護 1)代謝疾患の種類(糖尿病、高脂血症、メボリックシンドローム) 2)代謝機能に障害のある人の看護(血糖測定) 3)事例<糖尿病インスリン療法:慢性期看護>	講義 講義・演習	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】系統看護学講座 血液・造血器疾患 医学書院 系統看護学講座 アレルギー疾患 医学書院 系統看護学講座 内分泌・代謝疾患 医学書院		
履修上の 注意	・関連科目:免疫代謝形態学、免疫代謝病態学		
備考			

平成31年度 授業概要

授業科目名	老年看護学概論	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	専任教員 (実務経験5年以上、かつ教員に必要な研修を受講した者)	時期	1年次 2学期
	1. 高齢者の身体的・精神的・社会的側面と発達段階の特徴を理解できる。 2. 我が国の高齢者医療・保健・福祉対策と看護の課題を理解できる。 3. 老年看護の特徴・役割を理解できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. 老いるということ、老いを生きるということ 1) 老年看護を学ぶ入口	講義	
2	2) 老いるということ	講義	
3・4	3) 高齢者疑似体験 ※3h	演習	
4・5	4) 老いを生きるということ	講義	
6	2. 超高齢社会と社会保障 1) 超高齢社会の統計的輪郭	講義	
7	2) 高齢社会における医療福祉の動向	講義	
8・9	3) 高齢者の権利擁護	講義	
10	3. 老年看護のなりたち 1) 老年看護のなりたち	講義	
11・12	2) 老年看護の役割	講義	
13・14	3) 老年看護における理論・概念の活用 4) 老年看護に携わる者の責務	講義	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会		
履修上の 注意			
備考	3, 4回目の高齢者疑似体験は、サンシップ富山にて行う予定です。		

平成31年度 授業概要

授業科目名	老年健康維持論	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(看護師)・専任教員	時期	2年次 1学期
	1. 高齢者のヘルスアセスメントの特徴が理解できる。 2. 高齢者の生活・療養の場における看護が理解できる。 3. 高齢者の生活機能を支える看護が理解できる。		
回数	授業内容	教育方法および担当	
1	1. 高齢者のヘルスアセスメント 1)ヘルスアセスメントの基本	講義	
2	2)身体に加齢変化とアセスメント	講義	
3	(1)皮膚とその付属器 (2)視聴覚とそのほかの感覚	講義	
4	(3)循環系 (4)呼吸器系 (5)消化器系	講義	
	(6)ホルモンの分泌 (7)泌尿生殖器系 (8)運動系	講義	
5	2. 生活・療養の場における看護 1)高齢者とヘルスプロモーション	講義	
6	2)保健医療福祉施設および居住施設における看護	講義	
7	3)治療・介護を必要とする高齢者を含む看護 4)他職種連携実践における活動	講義	
8	3. 高齢者の生活機能を支える看護 1)日常生活を支える基本的活動	講義	
9	2)食事・食生活	講義	
10	3)排泄	講義	
11	4)清潔	講義	
12	5)生活リズム	講義	
13	6)コミュニケーション	講義	
14	7)セクシャリティ 8)社会参加	講義	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
履修上の 注意			
備考			

授業科目名	老年看護方法論Ⅰ	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(看護師)・専任教員	時期	2年次 1学期
	1. 高齢者の健康逸脱からの回復を促す看護が理解できる。 2. 治療を必要とする高齢者の看護が理解できる。 3. 高齢者のエンドオブライフケアに必要な看護が理解できる。 4. 高齢者のリスクマネジメントについて理解できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. 健康逸脱からの回復を促す看護 1) 症候のアセスメントと看護 (1) 発熱 (2) 痛み (3) 掻痒 (4) 脱水	講義	
2	(5) 嘔吐 (6) 浮腫 (7) 倦怠感 (8) 褥瘡・スキン-テア	講義	
3	2) 身体疾患のある高齢者の看護 (1) 脳卒中 (2) 心不全 (3) 糖尿病 (4) 慢性閉塞性肺疾患 (5) がん	講義	
4	(6) パーキンソン病・パーキンソン症候群 (7) インフルエンザ (8) 肺炎 (9) 骨粗鬆症 (10) 骨折	講義	
5	3) 認知機能障害のある高齢者の看護 (1) うつ (2) せん妄	講義	
6,7	(3) 認知症	講義・演習	
8	2. 治療を必要とする高齢者の看護 1) 検査を受ける高齢者の看護	講義	
9	2) 薬物療法を受ける高齢者の看護 3) 手術を受ける高齢者の看護	講義	
	4) リハビリテーションを受ける高齢者の看護	講義	
	5) 入院治療を受ける高齢者の看護	講義	
10	3. エンドオブライフケア 1) エンドオブライフケアの概念	講義	
11,12	2) 「生ききる」ことを支えるケア 3) 意思決定への支援 4) 末期段階に求められる看護	講義	
13	4. 高齢者のリスクマネジメント 1) 高齢者と医療安全	講義	
14	2) 高齢者と救命救急 3) 高齢者と災害	講義	
15	修了試験	筆記試験	
必須図書 参考図書等	筆記試験等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
履修上の 注意			
備考			

授業科目名	老年看護方法論Ⅱ	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	専任教員 (実務経験5年以上、かつ教員に必要な研修を受講した者)	時期	2年次 2学期
	1.高齢者の健康段階に応じた高齢者看護を理解できる。 2.看護理論を用いて高齢者への看護を考えることができる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	高齢者看護の基本	講義	
2~7	看護過程の展開 事例<心不全:慢性期看護> 事例<COPD:回復期看護> 疾患・治療・検査の理解 回復期・慢性期にある高齢者とその家族の理解 疾患・治療による日常生活への影響のアセスメント 自立・安全を考慮してアセスメントに基づいた看護計画の立案	講義・演習	
8	まとめ	講義	
評価方法	課題、レポート等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 医学書院		
履修上の 注意	1年次の看護過程や2年次の健康段階の看護Ⅰ・Ⅱ、老年看護学概論、老年健康維持論、老年看護学方法論Ⅰの授業を基に授業を進めます。関連授業中に使用した資料やレジュメを活用します。授業開始前にはこれらの資料を整理し、授業に持参できるようにしてください。		
備考			

平成31年度 授業概要

授業科目名	小児看護学概論	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	専任教員 (実務経験5年以上、教員に必要な研修受講者)	時期	1年次 2学期
科目目標	1. 小児の特徴と小児看護の概念を理解する。 2. 小児の保健統計を踏まえ、小児を保護する法律や保健対策を理解する。		
回数	授業内容	教育方法	
1・2	1. 小児看護の対象理解の関する概念、理論 1) 子どもとは 小児期とは 2) 自我発達理論 3) 認知発達理論 4) 親子関係論(アタッチメント 分離—個体化理論) 5) 家族システム理論 家族発達理論	講義	
3	2. 小児の成長・発達 1) 成長・発達の原則 2) 成長・発達に影響する因子 3) 発育の評価 形態的成長の観察と評価 心理社会的発達の評価法	講義	
4	3. 小児各期の成長発達の特徴 1) 新生児期の子どもの成長・発達	講義	
5	2) 乳児期の子どもの成長・発達と看護	講義	
6	3) 幼児期の子どもの成長・発達	講義	
7	4) 学童期の子どもの成長・発達	講義	
8	5) 思春期の子どもの成長・発達	講義	
9・10	4. 小児と家族をとりまく社会環境 1) 母子保健統計の動向 2) 児童福祉に関する法律、施策 3) 母子保健に関する法律、施策 3) 学校保健 4) 医療費支援 5) 予防接種	講義	
11・12	5. 小児看護における倫理 1) 子どもの権利 子ども権利条約 子どもの虐待 2) 小児医療と子どもの権利 3) 小児看護と倫理的配慮 子どもの意思決定支援、プレパレーション、ディストラクション 臓器移植法	講義	
13・14	6. 小児看護の特徴と理念 小児医療の変遷と課題 小児看護の目標	講義	
15	7. 修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 【参】 筒井真優美 編著 小児看護学 第7版 日総研 服部祥子 著 生涯人間発達論 第2版—人間への深い理解と愛情を育むために 医学書院		
履修上の注意			
備考			

授業科目名	小児成長発達論	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	非常勤講師(看護師)	時期	2年次 1学期
科目目標	1.小児の成長発達過程を踏まえ、健康状態を査定するための方法を理解し看護技術を習得する。 2.検査・処置を受ける小児の看護を理解する。 3.病気・障害を持つ小児と家族の看護を理解する。		
回数	授業内容	教育方法	
1	1. 病気や入院が小児に与える影響とその看護 1)小児の病気の理解と説明 2)病気や入院に伴う小児の反応 3)病気や入院が小児の成長・発達に及ぼす影響 4)小児の病気や入院がもたらす影響を左右する因子	講義	
2	2. 小児の身体的アセスメント 1)フィジカルアセスメント ①バイタルサイン ②呼吸器 ③代謝 ④水分出納 ⑤免疫 ⑥循環器	講義	
3・4	3)健康状態査定の方法の実際 ① バイタルサインの測定(演習) ② 身体測定(演習)	講義 演習	
5	3. 外来における小児と家族 1)緊急度の把握・トリアージ 2)虐待への気づきと重症化予防に向けての対応 3)安全の確保(事故防止、感染防止) 4)受診時の小児と家族の不安の軽減 5)健康診査、育児相談	講義	
6・7	4. 検査や処置を受ける小児と家族 1)検査・処置各論 ①採血 ②採尿 ③骨髄穿刺 ④腰椎穿刺 ⑤吸入 ⑥与薬 ⑦注射 ⑧輸液療法 ⑨経管栄養法 2)検査や処置時の援助 ① 成長発達に応じたプレパレーション ② 採血、採尿、腰椎穿刺、輸液療法等の実際	講義 演習	
8	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 【参】 小児看護学 第8版 筒井真優美編著 日総研 小児看護実習ガイド 筒井真優美編著 照林社		
履修上の 注意			
備考			

平成31年度 授業概要

授業科目名	小児看護方法論Ⅰ	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	非常勤講師(看護師)	時期	2年次 2学期
科目目標	1.ハイリスク新生児と家族の看護を理解する。 2.先天的疾患のある小児と家族の看護を理解する。 3.心身障害のある小児と家族の看護を理解する。		
回数	授業内容	教育方法	
1.2	小児期特有の症状や疾患を持つ小児と家族の看護 1. ハイリスク新生児と家族 1) 低出生体重児の特徴 2) ハイリスク新生児の集中治療と援助 3) 親子・家族関係の促進 事例 <低出生体重児と家族の看護>	講義 演習	
3.4	2. 心身障害のある小児と家族 1) 心身障害の定義と種類 2) 発達障害 3) 障害の受容 4) 小児と家族の日常生活にかかわる社会資源活用と援助 事例 <発達障害ある児と家族の看護>	講義	
5.6	2. 先天的疾患のある小児と家族 1) 先天異常の種類と特徴 2) 小児の発達段階に応じた援助 3) 小児の先天的な問題に対する家族の理解と受容への援助 4) 小児の養育とケア技術獲得に対する家族の援助 事例 <脳性まひの子どもと家族の看護>	講義 演習	
7	4. 医療的ケアを必要として退院する小児と家族 1) 入院生活から在宅への移行に向けた援助 2) 他職種との連携と社会資源の活用 3) 在宅療養中の小児と家族の支援 4) 小児のセルフケア行動の促進	講義	
8	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 医学書院		
履修上の 注意			
備考			

平成31年度 授業概要

授業科目名	小児看護方法論Ⅱ	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(看護師)・専任教員	時期	2年次 2学期
科目目標	1.症状を示す小児の看護を理解する。 2.小児における疾病の経過と看護を理解する。 3.小児における各疾患の病態・症状・診断・治療・看護について理解する。		
回数	授業内容	教育方法	
1.2.3	1. 急性症状のある小児と家族 1) 急性的な経過をたどる疾患の特徴と治療 2) 発熱時の援助 <川崎病> 3) 脱水時の援助 4) 下痢・嘔吐があるときの援助 <感染性胃腸炎> 5) 呼吸困難があるときの援助 事例<気管支喘息> 6) けいれんがあるときの援助 <てんかん> 7) 生命徴候が危険な状況にある小児と家族への援助	講義 演習	
4.5.6	2. 救命救急処置が必要な小児と家族 1) 小児救急におけるトリアージと対応 2) 主な誤飲物質と処置 3) 小児の熱傷の特徴・重症度および処置 4) 溺水と処置 5) 小児の一次救命 6) 乳幼児の意識レベル 7) 吸引 8) 酸素療法	講義	
7.8.9	3. 周手術期における小児と家族 事例<ファロー四徴症> 1) 手術を要する疾患と看護 2) 術前・術中・術後の小児と家族の看護 3) 退院に向けての看護	講義 演習	
10.11.12	4. 慢性期にある小児と家族 事例<1型糖尿病> 1) 病気の時間的経緯と急性増悪 2) 小児と家族の生活の変化 家族のストレス緩和・対処支援 3) 長期治療を要する小児の発達とセルフケア	講義 演習	
13.14	5. 終末期にある小児と家族 事例 <急性骨髄性白血病> 1) 小児の死の概念および小児の不安と別離の不安 2) 小児への病気の説明 3) 小児への緩和ケアおよび小児を看取る家族への看護	講義 演習	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する。		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 医学書院		
履修上の 注意			
備考			

授業科目名	母性看護学概論	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(助産師)	時期	1年次 2学期
科目目標	1.母性看護の目的と役割を理解できる。 2.ライフサイクル各期の女性の特徴と起こりうる健康問題を理解できる。 3.リプロダクティブ・ヘルス/ライツの動向と課題を理解できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1・2	1. 対象理解の基盤となる概念、理論 1)母性、父性、親性 2)女性・男性、ジェンダー、ジェンダーアイデンティティ、セクシュアリティ 3)性の多様性(性的マイノリティ、LGBT)、性同一性障害 4)リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、セクシュアルヘルス/ライツ 5)ウィメンズヘルス、ウィメンセンタードケア	講義	
3	2. 生殖機能の特徴 1)性周期、生殖器の構造・機能 2)妊娠の成立(受精～着床) 3)性の分化	講義	
4	3. リプロダクティブヘルスケア 家族計画、受胎調節、人工妊娠中絶	講義	
5・6	4. 女性のライフサイクルにおける健康課題と健康支援 1)思春期の女性の特徴 2)思春期の女性の健康問題(痩せ、月経異常、性感染症、妊娠)	講義	
7・8	3)成熟期の女性の特徴 4)成熟期の女性の健康問題(生殖器疾患、性暴力、DV、不妊)	講義・演習	
9	5)更年期の女性の特徴 6)更年期の女性の健康問題(更年期障害、更年期のうつ)	講義	
10・11	5. リプロダクティブ・ヘルスの現状と動向 1)母子保健統計の動向 2)母子保健に関する主な法律、施策	講義	
12・13	6. リプロダクティブ・ヘルスに関する倫理 生殖補助医療、出生前診断、人工妊娠中絶と倫理的課題 7. 周産期の死(死産、流産)、ペリネイタルロスケア	講義・演習	
14	8. 母性看護の実践の基盤となる理論、概念 1)親役割の獲得過程、愛着理論、母子相互作用(絆形成) 2)ファミリーセンタードケア(FCC) 3)ヘルスプロモーション、ウェルネス	講義	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会		
履修上の 注意			
備考			

授業科目名	母性異常時の看護	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	非常勤講師(助産師)	時期	2年次 2学期
科目目標	1.妊娠・分娩・産褥・新生児期各期に起こりうる異常と必要な看護を理解できる。 2.ハイリスク妊産褥婦の特徴と必要な看護を理解できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1・2・3	<p>身体的ハイリスクと看護</p> <p>1. 妊娠期の異常と看護</p> <p>1) 妊娠の異常 異所性妊娠、流産、不育症、妊娠悪阻、切迫早産、妊娠高血圧症候群、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、妊娠糖尿病、多胎、妊娠貧血</p> <p>2) 合併症妊娠</p> <p>3) 妊娠期の感染症</p>	講義	
4・5	<p>2. 分娩期の異常と看護</p> <p>・分娩の3要素の異常(回旋異常、微弱・過強陣痛、前期破水、臍帯下垂・巻絡等)</p> <p>・胎児機能不全</p> <p>・分娩時の損傷、異常出血(弛緩出血、軟産道裂傷)</p> <p>・産科処置(分娩誘発、吸引・鉗子分娩、帝王切開、会陰切開)</p>	講義	
6	<p>3. 産褥期の異常と看護</p> <p>子宮復古不全、産褥熱(子宮内感染症)、帝王切開後、泌尿器感染症、乳腺炎、深部静脈血栓症</p> <p>4. 新生児期の異常と看護</p> <p>新生児仮死、分娩外傷、新生児一過性多呼吸、胎便吸引症候群、高ビリルビン血症、新生児低血糖症、新生児ビタミンK欠乏症</p> <p>精神的ハイリスクと看護</p> <p>精神障害合併妊娠、産後うつ、産褥期精神障害</p>	講義	
7	<p>社会的ハイリスクと看護</p> <p>高年・若年妊娠、未受診妊婦、在日外国人母子、災害時の母子</p> <p>周産期医療システム</p> <p>周産期ネットワーク、母体搬送、新生児搬送</p> <p>修了試験</p>	講義	
		筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院		
履修上の 注意	<p>・母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱで生理的な妊娠・分娩・産褥・新生児期の経過を理解しておく。</p> <p>・関連科目：母性看護学概論、小児看護学概論、小児看護学方法論、微生物学、循環病態学、消化病態学、免疫代謝病態学、小児病態学、精神病態学</p>		
備考	新生児期の異常のうち、低出生体重児の特徴と看護については小児病態学、小児看護学方法論で学ぶ。		

授業科目名	母性看護方法論 I	区分	専門分野 II
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(助産師)	時期	2年次 1学期
科目目標	1.妊娠期の生理的变化とその看護を理解できる。 2.分娩期の生理的变化とその看護を理解できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1・2・3	1. 妊娠期の身体的特性 妊娠・妊娠期間の定義、胎児の発育と生理、母体の生理的变化	講義・演習	
4・5・6	2. 妊娠期の心理・社会的特性 3. 妊婦と胎児の観察、アセスメント 1)胎児の発育と健康状態 2)妊婦健康診査、妊娠経過の診断 3)妊婦の身体的健康状態 4)日常生活に関するアセスメント	講義・演習	
7・8	4. 妊婦と家族への看護 1)保健相談、指導 マイナートラブル、食生活、排泄、運動、清潔、活動・休息、勤労 2)親になるための準備教育 分娩準備教育、育児準備、家族役割調整	講義	
9・10	5. 分娩の要素、分娩経過 1)分娩進行、産婦の身体的変化、産痛 2)胎児に及ぼす影響 3)産婦の心理・社会的変化	講義	
11・12	6. 産婦・胎児・家族の観察、アセスメント 分娩経過、不安、産痛、胎児付属物、基本的ニード、母親役割、家族関係	講義	
13・14	7. 産婦と家族の看護 1)安全、安楽な分娩への看護(産痛緩和、環境調整) 2)出産体験が肯定的になるための看護 (バースプラン、バースレビュー) 3)基本的ニードに関する看護 4)分娩期の看護の実際	講義	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 専門分野 II 母性看護学各論 医学書院		
履修上の 注意			
備考			

授業科目名	母性看護方法論Ⅱ	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(助産師)	時期	2年次 2学期
科目目標	1.新生児期の生理的变化とその看護を理解できる。 2.産褥期の生理的变化とその看護を理解できる。		
回数	授業内容	教育方法	
1・2	1. 新生児の生理 1) 出生体重、在胎週数を基準とした新生児のよび方 2) 子宮外適応現象(呼吸・循環、体温、消化器、代謝、血液) 3) 生理的黄疸、免疫機能、皮膚、原始反射、聴覚、視覚 2. 新生児の観察、アセスメント 全身の観察、身体計測、黄疸、体重減少、哺乳、排泄、反射、等	講義	
3・4	3. 新生児の看護 出生直後の看護、抱き方、おむつ交換、衣服の着脱、沐浴、等	講義・演習	
5・6	4. 産褥経過と褥婦のアセスメント 1) 産褥期の身体的変化 ・退行性変化(子宮復古、悪露、後陣痛) ・進行性変化(乳汁分泌、乳房・乳頭の形態) ・全身の変化、回復状態(外陰部、肛門、排泄、血液、体温等) 2) 褥婦の生活パターンとセルフケア(休息・活動、栄養、清潔) 3) マイナートラブル(便秘、尿失禁、疼痛、貧血、等)	講義	
7	4) 産褥期の心理社会的変化 母親への適応過程、母子関係、マタニティブルーズ、家族の心理的变化、サポート体制	講義	
8・9	5. 褥婦と家族への看護 1) 身体の回復、進行性変化を促す看護(セルフケアを促す援助) 休息・活動、栄養、排泄、清潔、疼痛への対処、乳房ケア 2) 親役割獲得への看護 ・児との関係確立への看護 ・育児支援(母乳育児支援、児の清潔、児の健康管理、育児不安、等) 3) 家族関係再構築への看護	講義・演習	
10～14	6. 事例展開<経膈分娩後の母子>	講義・演習	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 平澤美恵子ら監修 写真でわかる母性看護技術アドバンス インターメディカ		
履修上の 注意			
備考	新生児の身体的特徴は小児病態学で学ぶ。		

平成31年度 授業概要

授業科目名	精神看護学概論	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	専任教員 (実務経験5年以上、教員に必要な研修を受講した者)	時期	1年次 2学期
科目目標	1.精神看護の目的と役割を理解できる。 2.精神保健の動向と課題を理解することができる。 3.健康上の問題を抱えるあらゆる人々への精神的な援助を考えることができる。		
回数	授業内容	教育方法	
1・2	社会とメンタルヘルス 精神医学的問題と社会的要因 さまざまな社会的病理現象	講義	
3	臨床における心の健康と不健康 患者の心の健康 病気によるストレス 患者を支える家族の心の健康	講義	
4・5・6	さまざまな状態における心の健康	講義	
7	看護師のメンタルヘルス	講義	
8	リエゾン精神医学 リエゾン精神看護	講義	
9	集団力動論	講義	
10・11	精神保健医療福祉の沿革・歴史	講義	
12	精神看護における倫理	講義	
13	精神看護の考え方 精神看護師の役割	講義	
14	精神を病む人の理解と対応 入院時の状況の理解 入院形態 入院時の看護 行動制限と看護	講義	
15	精神看護のリスクマネジメント 修了試験	講義 筆記試験	
評価方法	筆記試験等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】精神看護学Ⅰ 精神保健学 ヌーベルヒロカワ 【必】精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ヌーベルヒロカワ		
履修上の 注意			
備考			

授業科目名	精神健康維持論	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	非常勤講師(院外講師)	時期	2年次 1学期
科目目標	1.現在の社会情勢などから精神に与えている影響とその人たちの支援の必要性を理解することができる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	現代の精神保健 こころの健康とは	講義	
2	精神力動的な考え方	講義	
3	脳の機能と精神の障害	講義	
4	ストレス 危機理論とリスクマネジメント	講義	
5・6	ライフサイクルと精神保健	講義	
7	生活の場と精神保健	講義	
8	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験およびレポート等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】精神看護学Ⅰ 精神保健学 ヌーベルヒロカワ		
履修上の 注意			
備考			

授業科目名	精神看護方法論Ⅰ	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(15時間)
担当者	非常勤講師(看護師)	時期	2年次 2学期
科目目標	1.対人関係理論を理解し自己を振り返る方法を理解できる。 2.認知行動理論を理解し精神健康危機期にある対象への看護を理解することができる。		
回数	授業内容	教育方法	
1	精神を病む人の理解と対応 急性期から回復期、慢性期の看護 退院後の生活支援	講義	
2	精神科救急の概念	講義	
3	精神看護に用いる理論・モデル セルフケア理論	講義	
4	自己の振り返り プロセスレコード	講義・演習	
5	精神看護で活用する技法 面接 カウンセリング	講義・演習	
6	集団療法 生活技能訓練(SST) 心理教育	講義	
7	精神療法 支持的精神療法 行動療法 認知療法 家族療法 環境療法	講義	
8	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験およびレポート等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ヌーベルヒロカワ		
履修上の 注意			

平成31年度 授業概要

授業科目名	精神看護方法論Ⅱ	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(看護師)	時期	2年次 2学期
科目目標	1.様々な精神症状における基本的な看護を理解することができる。 2.司法精神看護の基本について理解することができる。		
回数	授業内容	教育方法および担当	
1	幻覚妄想のある対象への看護 せん妄のある対象への看護	講義	
2	抑うつ状態、躁状態にある対象への看護	講義	
3	引きこもり、操作をする対象への看護	講義	
4	自殺・自傷行為、不眠状態にある対象の看護	講義	
5	依存状態、意欲減退状態にある対象の看護	講義	
6	不安状態、強迫行為のある対象の看護	講義	
7	攻撃行動、興奮状態にある対象の看護	講義	
8	統合失調症の症状と看護 事例<統合失調症の看護>	講義	
9	解離性障害、摂食行動に障害のある対象への看護	講義	
10	児童・思春期・青年期の精神看護	講義	
11	身体合併症のある患者の看護	講義	
12・13	司法精神看護 司法精神医療と医療観察法 処遇の流れ 包括的暴力防止プログラム(CVPPP)	講義 施設見学(3時間) 【NHO北陸病院東病棟】	
14	精神看護学の今後の展望	講義	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験およびレポート等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ヌーベルヒロカワ		
履修上の 注意			
備考			

授業科目名	精神看護方法論Ⅱ	区分	専門分野Ⅱ
		単位数(時間数)	1単位(30時間)
担当者	非常勤講師(看護師)	時期	2年次 2学期
科目目標	1.様々な精神症状における基本的な看護を理解することができる。 2.司法精神看護の基本について理解することができる。		
回数	授業内容	教育方法および担当	
1	幻覚妄想のある対象への看護 せん妄のある対象への看護	講義	
2	抑うつ状態、躁状態にある対象への看護	講義	
3	引きこもり、操作をする対象への看護	講義	
4	自殺・自傷行為、不眠状態にある対象の看護	講義	
5	依存状態、意欲減退状態にある対象の看護	講義	
6	不安状態、強迫行為のある対象の看護	講義	
7	攻撃行動、興奮状態にある対象の看護	講義	
8	統合失調症の症状と看護 事例<統合失調症の看護>	講義	
9	解離性障害、摂食行動に障害のある対象への看護	講義	
10	児童・思春期・青年期の精神看護	講義	
11	身体合併症のある患者の看護	講義	
12・13	司法精神看護 司法精神医療と医療観察法 処遇の流れ 包括的暴力防止プログラム(CVPPP)	講義 施設見学(3時間) 【NHO北陸病院東病棟】	
14	精神看護学の今後の展望	講義	
15	修了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験およびレポート等にて評価する		
必須図書 参考図書等	【必】精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ヌーベルヒロカワ		
履修上の 注意			
備考			